

# 週刊すず辰<sup>たっ</sup> (第367号) 令和1.11.25

火金だけ18:30まで。

今週も、“すず辰(すずたっ)”が厳選しました農家さんの野菜(果物)たちをお買い上げいただきありがとうございます。ぜひおいしいもの好きなお友達・お知り合いにもお声かけください。お客様の輪が八百屋の力になります。

## ●今週のピックアップ商品○(来週もあります)

### トビウオ(あご)の出汁はうまいのです。

店で人気の“あご入り博多だし屋のうまかだし”。装いも新たに入荷です。炭火で炙ったあご(トビウオ)入りの美味しい出汁が簡単にできます。

東京時代にたまたま言った焼酎バーのみに出てきたそうめんのつゆが出汁が効いてめちゃくちゃおいしくびっくりしたのが、あご出汁との出会いでした。ぜひ体感下さいませ。



### 山ごぼう、厚沢部町で30年以上作ってます。

“山ごぼう”、出てきました！ 普通のゴボウでなく、モリアザミの根っこ。コリコリの歯切れのよい食感と、土の香りで、炒めたり、天ぷら、揚げ物、炊き込みごはん、漬物とポリポリうまい！ 1度食べると病みつきになる方多し。

東海地方でみそ漬けの素材として伝統的に食べられてきたものの、連作障害が出やすく、輪作体系のある厚沢部町で、平成から栽培。隠れた地場の旬の食材、ぜひに！



## ▲すず辰のこぼれ話▽ 次の京とうふは11/26、28、30、12/3です。

### 兄弟ごとに取り組みにも違いがあるもので。

長男が年長さんの時にハマったカードゲーム(詳細:裏面右)に、次男が小2になった今ハマっています。彼の場合、強いカードに頼った戦術で、上手いけど強いのですが、父があの手この手で崩しに行くと勝とうものなら、「ズルい！今のなし！」と大騒ぎ。こちらが「負ける度にそうならもうやらんで」というと、「じゃあいい！」とカードを隠す始末。喰らいつき方も違いまして、勝敗が決した後に「まだ続ける！」と延々と勝負を続けたり。なんとなく、「どうやったらいいか」自己を顧みるのではなく、「あのせいで」と他に原因を探す姿に大丈夫かなと思っていましたが、昨夜、ゲームの説明書を一生懸命読む姿に。ちょっと安心した父なのです。そろそろ父を負かしてくれるでしょうか。

## ◆ちよっとまじめな話:嫌じゃないことから◆

右下とか裏面右の息子たちの言動を思いつつ、わが身を振り返り、冬場の来客の減少をしょうがないこととして、できることを放置していたなど反省しております。

店が路地裏で分かりにくいとか、営業時間が限られるとか、駐車場がわかりづらいつらいつらとか、雪降るとお客さんが減るとか、ダメな理由を連ねても何も変わらないわけで。働いている人が来やすいようにできる日だけでも夕方開けると、「火・金だけ18時半まで営業」始め、そもそも雪道の運転を控える人がいるなら「配達してみよう」と試行錯誤し。駐車場は…と隣の町会館の裏の空き地が使えないかなと、町会の役員さんに相談してみれば、「一時駐車ならいいよ」と正式に許可いただいたり。(町会館の裏の空き地駐車可です。許可証も作ってもらいましたので停めた場合は教えて下さい。車のフロントガラスに貼り付けます)

そんなこんなで動き出していましたら、宅配の常連さんからこんな話を教えてもらいました。

“先日「俺の話は長い」というドラマを見ていたら、プータローの生田斗真が、金持ち女の倉科カナに、好きな仕事やってるんでしょ！いいよね！！みたいなことを言うシーンがあったのね。

そのときに、彼女は、自分も無職の時期があって、この先どうしようと悩んだときに「嫌じゃないことから始めていった」って言ったのよね。

ワタシ、もう、目からうろこでね。無理して何かを探すんじゃなくて、とりあえず、嫌じゃないことをやっていこう、って、そうしたら、どこかにたどり着くかもしれないじゃない、って、思えたのよね。”

「嫌じゃないことから始めていった」って、要はできる事から行動を起こしていったってことで、うだうだ悩むより、行動がすべてを変えていくってことなんだろうなと腑に落ちたんです。裏の左に再録した「ひげそり」と～の話もまさに「ひげそり」って行動からすべてが変わって行ったわけで。

というわけで、気候や景気のせいにせず、しっかり稼ぎ、皆さまを笑顔になっていたために、できることをどんどんやっていきたいと思います。決意表明でした。

すず辰マガジンがウェブで読めるようになりました↓



### 《すず辰について》

鈴木辰徳(辰年:43歳。12.9.7歳の3児の父)がH23に開業。「野菜で笑顔を結ぶ」をモットーに、作る人と食べる人の笑顔の架け橋となるべく、素敵な農家さん、野菜果物のおいしさ楽しさをご提案。路面での販売“マルシェすず辰”を経て、H25/3/25念願の店舗オープン！ マンガ“八百森のエリー”絶賛応援中！  
函館市本通1-24-3(店舗) 店前・店横駐車可。  
平日11時半・土曜12時半開店 17時閉店(日祝日休み)  
★火・金だけ18時半まで開店★ TEL/FAX:0138-76-9865  
メール: [suzutatsu831@ncv.jp](mailto:suzutatsu831@ncv.jp) HP: <https://suzutatsu831.com/>

2年前の10/20(金)、北海道新聞の夕刊の道南情報誌「みなみ風」内のリレーコラム「立待岬」に載った文章です。入院中に考えたことを書いてみました。

## ◆ちよっとまじめな話:二つの友の言葉とひげそりと◇(17/10/20)

実は先月3週間余り入院生活を送っていました(今は営業再開しています)。

術後、身体の痛みと慣れない環境に寝つけず、2日目以降も、小一時間寝てはすぐ起きてしまい、そのまま寝れなかったり。

寝れなかったら治らんやん、と後ろ向きになっていた4日目の朝。ふと別件で友に言われた「願望と行動が一致しない人が多い」という言葉が頭に浮び、「あれ、もしかして今の俺?」、とわが身を振り返り。

別の友人に過去に言われた「あるものに感謝を」との言葉を思い出し、あるものを一つずつ確認。手術は成功、食事がおいしくとれる、愛する家族がいる、左耳は聞こえないけど右耳は聞こえる…すると力が湧き、一步踏み出す気に。

で、「あー、包帯ぐるぐるでちゃんとそれしええやー」と思ってたひげをそろうと。そしてスッキリした自分の顔を鏡を見て、頭もスッキリ。人間って単純なもんです。そんな私の顔を見て、主任看護師の方が一言。「調子よさそうですね。もう病棟内、自分で歩いていいですよ」。なにか、いろんなことがいい方向に転がり出した、術後4日目の日曜日でした。

上手いかないことが重なると人間立ち止まってしまう(後戻りする)ときもありますが、あるものに感謝し、思う方向に向かって一步踏み出すとがらっと風景が変わるなんてことも。それをつくづく感じた経験でした。(八百屋すず辰店主)

術後3日間は、ささやかな回復(立てた!、トイレに自分で行けた!、リハビリが始まった! などなど)を素直に喜び感謝できたものが、元来寝ないとどうにもならない人間が4日間も徹夜・半徹な日々が続くとどうにもこうにも後ろ向きになり。

でも、これじゃあかん!、とひげをそったら、上記の「病棟内解禁」に始まり、頭をおおっていた包帯(というかコルセット)も外れ頭も軽くなり。

さらに、点滴の取付機具が電動式(コンセントに刺さっているのでいちいち引き抜かないといかず、かつ重たい)から、ただの鉄の棒になり軽くなり。

そして、昼のリハビリ後、療法士の先生から、「病院全体を自分だけで歩いていのように看護師さんに許可出しておきますね」と完全な自由を得る!、と朝へこんでたのがウソのように1日で事態が一気に改善。

「ひげそり」というささやかな一歩が大きく効いた一日だったなあとしみじみ思ったそんな日でした。

そうそう、二人の友人にも感謝!(もちろん愛する家族や皆々さまも!)

悔しさを爆発した上でパワーに変えた長男と、周りのせいにしてすねていましたがじわーと頑張らした次男と。性格が出るものです。

## ◆ちよっとまじめな話:悔し涙を越えて◇(16/9/12)

来年小学生になる長男の最近の関心は、ポケモンのカードゲームです。ポケモンとは、アニメのキャラクターで、とある世界に生息している特殊な生物で、正式にはポケットモンスター。さまざまな技を持ち、その技を駆使して闘うカードゲームなのです。このカードゲーム自体は今年で20周年を迎え、何を今さらというところではあるのですが、最近やり始めた長男にとっては今が旬のゲームです。

やり始めの頃、ルールがまだよく分かっておらず、私と対戦するたびに負け続け、負ける度に涙を流して悔しがっていました。カードをぶちまけ、物に当り、あまりに感情をぶつけるので、「いちいち泣くならやらないよ。それとも、父が手加減した方がいい?」と聞くと、「やだ!!」とくらいついてきました。ある時、寝る前に対戦。あまりの癪癪に夜中寝言で怒る始末。女房にちよっと控えたら、と言われてしまいどうしたものかと思案の父。次の日、どうしてもやる!、というのでまた対戦。また負けて大泣き。こりゃだめだと思い、寝るときに息子を抱きしめながらこう言い聞かせました。「泣くほど悔しがるのはいいんだよ。ただね、悔しがって終わっていたら強くなれないよ。泣いた後になんで負けたのか、どうしたら勝てるのか考えないと。いつも怒るばかりで父の言うこと聞かんけど、どうしたらよかったか、父から言ってもいい?」とゆっくり話すどくどく鼻を鳴らしながら、うんと答えました。

そこからが違いました。ひらがなは読める長男。必死に各カードに書いてある説明文を読み、頭をフル回転。攻撃ごとに相手に与える技のダメージを計算するのですが、「60足す80はいくつ?」、「30足す30足す70は?」と事あるごとに頭の中で想定した闘いのダメージ計算を質問してきました。また、このゲーム、目先の闘いを捨てて、次の闘いに備えて時には仲間のポケモンを見捨てるというか「見切る」ことも大切です。(戦いに敗れてもポケモンはきぜつするだけで死ぬことはありません) 最初の頃、ついつい一体も負けまいとして結果負け続けていた長男。勝負をかけるポケモンとそうでない、時間稼ぎのというか、守り役のポケモンを自分なりに考え、使うカードもこちらがやられた!、と思うような絶妙なタイミングで出すように。そしてついに父の負け。

悔し涙を流せるその熱い想いに、いろいろ学ばせてもらう父なのです。

できることから、たとえば、店のお客さんが冬場来ないのであれば、道外のお客さんへの宅配を伸ばすという手が。とはいえ、店を知ってもらうのが第一で。そのために、すず辰マガジン①~③+αを電子書籍にして、まずは冊子で「主夫な八百屋」を知ってもらおかなと思っています。本代も少し稼げますし。一歩ずつ。